



小松市立学校PTA連合会  
会長 道場 幹雄

## 『信は力なり』

人の心は常に未完成だと思えます。良い方へ向かうこともあれば、悪い方に向かうこともあります。無限の可能性を秘めた子どもたちに対し、私たち大人が一番大切なことは100%信じてあげるることなのです。『自分を信じてくる人がいる』そのことが子どもたちの『生きる力』につながることでしょう。

流れ星に願い事を3回言うとその願い事が叶うと言われていました。しかし、流れ星というのは「一瞬」で消えてしまいます。皆さんは、その短い時間に願い事を3回も言えますか？大体が『あっ流れ星だ!!』と思っているうちに消えてしまいます。この言葉の意味は「いつ現れるか分からない一瞬で消えてしまう流れ星に3回も願い事を言えるほど、いつでもどこでも自分の目標や願いを考え続けていれば必ずそれは実現する」という意味なのです。夢を成し遂げた人は、たとえ1秒という限られた時間でも、いつも「準備」をしているのです。言い換えれば、常に「夢」を叶えようと努力している心に、そして、常に「今」を生きようとしている人の「未来」に流れ星が現れるのです。小松の子どもたちが今後、大きな希望や夢をもって家族や親友と、これから出会うであろう素晴らしい仲間たちと可能性ある未来へと歩んで行ってほしいと思えます。

最後になりますが、本年度をもちまして小松市立学校PTA連合会の会長の任期を終えます。この2年間「共に学び 共に育つ 明るい未来のために」～家庭教育力の向上を目指して～をテーマに家庭・学校・地域が一体となって活動してまいりました。その活動を通じて『学ぶ』ことの大切さを再認識させられました。私たちが生きるこの世界で、何か新しいことを知るというのは素晴らしいことです。そして学ぶこと、新しい何かを知ることの基となるのが好奇心です。この好奇心をなくさない限り、人はどこまでも前に進むことができます。私たち大人も努力し責任感をもって心豊かな子どもたちを育みましょう。

本会の活動に対しご支援、ご協力いただいた皆様に心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



小松市立学校PTA連合会  
顧問 齋藤 浩

## 『PTA活動を通しての、二人の娘からの贈りもの!』

PTAとは究極のボランティア活動であります。「子ども達のために、何が出来るのかを考え、出来る時に、出来る人が、出来ることをやろう」が本来の姿であります。絶対無理してでも、やることではない。「やらされている感」に決してなっはいけない。しかし、それぞれの活動が、子ども達のためになっているのか、常に考えなくてははいけない!

私たちを取り巻く環境は、物凄いスピードで変化を続けています。人口減少に少子化、インターネットの普及、教職員の働き方改革、そして人の価値観の多様化と劇的に変化をする現代社会の中において、「PTA不要論」を唱える人達も居ます。今まさに、PTA活動のあり方を考える重要な局面を迎えています。これまでの活動を、継続するものは継続する、変えるべきものは変えなければいけません。そんなPTA活動の変革を進めて、今だからこそPTAが必要だと存在意義を示さなければいけません。それぞれの地域全体で知恵を出し合い、地域全体で協力しながら子ども達を育てる環境を創る必要があるのだと思います。私たち大人が自ら学び、率先して行動することで、それがひいては子ども達に伝わり、大人の背中を見て素晴らしい成長に結びつくのだと確信いたします。

私は、7つの年の差がある2人の娘から、16年間というPTAの会員期間をいただきました。この間、学校行事やPTA活動には、積極的に参加をさせて頂きました。小学校、中学校、市P、県Pといった多方面で役員をさせていただく機会もいただき、多くの会員の皆様と情報を共有することも出来、大きな視野を持つことも出来ました。数え切れない多くの素晴らしい仲間達や学校教職員との出会いは、自分にとってはかけがえの無い宝物となり、自己を成長させていただく大きな機会となりました。「出会い」「気づき」「学び」のPTA活動とは、きっと二人の娘からの贈り物だったに違いないと、改めて感じています。16年間にわたりお世話になった、多くの会員の皆様と教職員の皆様に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



# 早寝早起き朝ごはん運動

## 大人が変われば子どもも変わる

日時／平成30年11月25日(日) 13時～16時

場所／サイエンスヒルズこまつ わくわくホールにて



未来の宝育成委員会 委員長 澤村 高史

子どもたちを取り巻く環境は、驚くほどのスピードで変化しています。インターネット、特にスマホの影響・依存は、大人ばかりでなく子どもたちの社会にも大きくなっており、その低年齢化も指摘されています。生活のリズムが乱れがちになっているなか、体の調子を整える「早寝早起き朝ごはん」は子どもの健全な成長のための基本であります。

この活動を保護者の方にも再確認していただく機会として本年度も実施しました。

例年通り、夏休みに小学校低学年を対象に「こまつっ子げんきアップカード」、保護者を対象に「早寝早起き朝ごはん運動パンフレット」を作成し、生活改善の啓発活動を行いました。また、同時に「わが家の標語」「わたしの朝ごはん」「ポスター・絵画」を募集も行い、2,670名の子どもたちから、3,516点の応募がありました。12年目となる本活動のご理解が高まってきたのではないかと思います。また、地域功労部門の「ラジオ体操プラス1・早寝早起き朝ごはん運動」にも3つの団体から応募がありました。その優秀作品・優秀功労団体に対し、11月25日に行いました早寝早起き朝ごはん小松市民大会にて表彰させていただきました。その市民大会では市P連の母親委員会からの子育て教育に関する研究発表、多賀クリニック 多賀千之氏によるセミナー。石川県立大学の宮口教授監修によると運動能力測定やフィットネスチェック、カブッキーじゃんけん大会等を行い、子どもから大人まで楽しめ、学べる環境をつくらせていただきました。生活習慣の大切さを学ぶとともに、家族のふれあい、コミュニケーションの向上につながった大会になったと思います。

本運動を通して生活習慣を見直し、子どもたちの元気で健やかな成長を見守っていただければと思います。最後に、この早寝早起き朝ごはん運動においてご支援、ご協力をいただいた多くの団体の皆様に心から感謝申し上げます。

### 〈早寝早起き朝ごはん運動〉入賞者のみなさん

#### ◆『わが家の標語』部門

松陽中学校 2年 成田 朱里さん・国府小学校 6年 水原 妃愛さん  
日末小学校 4年 西野 美月さん・芦城小学校 2年 中川 翼さん  
第一小学校 1年 安田 晃琉さん

#### ◆『わたしの朝ごはん』部門

南部中学校 3年 大平 歩美さん・稚松小学校 6年 藤本みのりさん  
芦城小学校 6年 島崎いろはさん・中海小学校 2年 若本 遥貴さん  
月津小学校 1年 宮本 夏那さん

#### ◆『早寝早起き朝ごはん運動』ポスター・絵画部門

月津小学校 5年 塚本 彩友さん・向本折小学校 4年 田端 美結さん  
向本折小学校 4年 牧 香里奈さん・芦城小学校 4年 瀧 菜々子さん  
安宅小学校 2年 南 ましろさん・第一小学校 2年 谷口 来夢さん

#### ◆『早寝早起き朝ごはん運動』地域運動部門

吉竹町公民館子供会 様

#### 2019 早寝早起き朝ごはん CALENDAR

1月～6月

7月～12月



入賞された内容が2019年のカレンダーになりました！



- ◆オープニング  
小松市立板津中学校吹奏楽部
- ◆開会挨拶
- ◆来賓挨拶
- ◆表彰式
- ◆ミニセミナー「あなたは外国人に日本のことを自慢できますか」  
講師 多賀クリニック 多賀 千之先生
- ◆研究発表「小松市立学校PTA連合会 母親委員会による発表」
- ◆カブッキーとジャンケン大会



小松市立板津中学校吹奏楽部です！



受賞された皆さん おめでとうございます！



カブッキーとジャンケン大会！



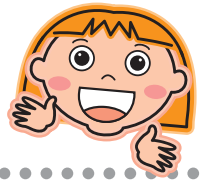
スポーツ&フィットネスチェックコーナー！





# 母親委員会

グループ別  
研究発表会



日時：平成30年11月25日(日) 場所：サイエンスヒルズこまつ わくわくホール

## A 「人を信じる力」を育てるために ～ 甘える壺をいっぱいにして～



## B 親子の時間を増やそう



## C HUG (ハグ) 最高！ ～ 子どもと二人の時間をつくっていますか？～



## D 思春期も楽しもう！ ～ 親子が信じあう力を育むために～



### グループ別研修会報告書に寄せて

母親委員会 委員長 出村 康恵

毎年、母親委員会では講演会を聴き、グループ毎にテーマを決め研修を行っています。今年度も小松市教育研究センターとの共催により、多賀クリニック院長 多賀千之氏に3回の講演をしていただきました。

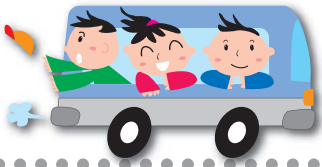
今年は『なぜ日本人は大震災でパニックにならないのか』という講演を基にグループ別研修を行いました。そのなかで災害時にほとんどの日本人が“パニックにならない・略

奪しない”のは世界では考えられないこととして日本人は“人を信じる力”が高いからとをお聞きしました。その信じる力の根源が関係であり、母親が子どもを、子どもが母親によって子どもの心の中にある“甘える壺”自己肯定感が育ち、子どもが自立に向かっていきました。

母親委員の皆さんには忙しいなか、約2か月の時間で研修をし報告書を作成していただきにご家庭で実験を行なうなど、どのグループも充実した内容になっていて、熱心に研修に取り組





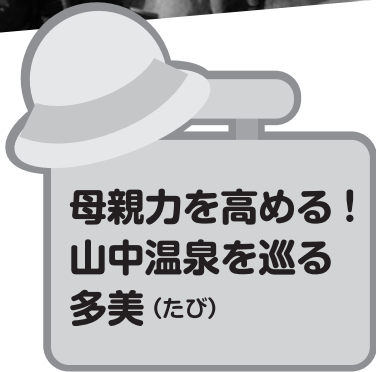


# 母親研修会



日時：平成30年12月7日(金) 場所：山中温泉

山中塗体験、懇親会等を行いました。研修会を通して、市内小中学校の母親代表ならではの視点での情報交換などを行い話し合う姿が見られ、親睦を深めました。



で、その理由と  
であるというこ  
が母と子の信頼  
親を信じること  
が満たされ自  
いくというお話

か月間の限られ  
きました。実際  
でも工夫をこら  
組んでいた

たことが分かります。その中で新たな発見や今後の子育てに関するヒントを各自が見つけれられたのではないかと思います。

この研修を機に、子どもとの関係を見つめ直すことで、私たち自身が楽しみながら明るい未来をつくる子どもたちを育てることができると思います。「家庭教育」と言うのが難しく思えますが、子どもが心も体も健やかに育つように、これからも家庭で子どもにたくさんの愛情を注いでいくことが一番大切だと感じました。

この研修会報告書を1人でも多くの皆さまに読んでいただき、皆さまの子育ての参考になれば幸いと存じます。



# 石川県PTA地区別研究指定発表会 第61回小松市PTA研究大会

## 小松市立学校PTA連合会 創立70周年記念講演会

日時：平成30年8月5日（日） 場所：小松市民センター 大ホール



今年の研究発表は松陽中PTA、東陵小育友会、能美小PTAの3校でいずれも特徴のある素晴らしい内容でした。

講演会では「未知と困難への挑戦」と題しまして、平出和也氏がPTAを現代風に改革した実例やアイデアを語っていただきました。

■小松市教育委員会表彰状 西田 清明 様・岡田 里美 様

■小松市立学校PTA連合会会長感謝状

山本 和人 様・芦城地区老人クラブ高砂会 様

平成30年度  
研究発表校

共に学び、子どもたちの  
進む道を見つけよう！

心身共にたくましい東陵っ子の育成  
～ 私たちの町の子どもは、私たちの力で守り育てよう～

「できるとき」に「できること」の探求  
～ PTAへの参加率向上の取組をとおして～



松陽中学校育陽会



東陵小学校育友会



能美小学校PTA

### 単Pだより

金野小学校、西尾小学校、波佐谷小学校が2018年3月末に閉校し4月より3校が統合、新たに『松東みどり学園』として開校しました。

開校1年目！地域の魅力ある学校を目指して！



松東みどり学園校長 後藤 修平

大きなかけ声、友だちと笑い合う楽しい声。大縄跳び・ドンじゃんけんなど全校が一緒に遊ぶ「朝活動」から松東みどり学園の一日はスタートします。縦割活動を充実し、9年間を一緒に過ごす仲間の絆を深めることが、今年一番大切にしていることです。松東みどり学園は、西尾・金野・波佐谷の3校が統合してできた学校です。2021年には、南加賀地区で初めての義務教育学校となります。義務教育学校とは、小学校から中学校までの義務教育を一貫して行う学校のことです。学年の区切りやカリキュラムを地域の実情に合わせて変更できることや中一ギャップ解消などのメリットがあり、これからの新しい学校モデルとして期待されています。今年は、「行きたい・行かせたい・行ってみたい学校」をスローガンに、9年間を見通した一貫性ある学校づくりに取り組んでいます。新しいものを生み出すためにチャレンジが必要となりますが、地域や保護者からの温かい支援と励ましが子どもや教職員に自信と意欲を与えてくれます。地域と共に、地域の活力を与えられる学校を目指し、取組を進めていきたいと思ひます。

つなげよう、つくろう、笑顔の輪



松東みどり学園PTA会長 日元 雅宜

私は縁あって統合初年度の松東みどり学園のPTA会長を務めさせていただきました。PTAの活動は初めてで、右も左もわからないままでしたが、心強い役員の方や校長先生はじめ教職員の方々のおかげで、ここまでやる事が出来ました。今年の学園のPTA活動のテーマは、「つなげよう、つくろう、笑顔の輪」です。3校の統合で、子ども達にもいろいろな戸惑いはあったかも知れませんが、子ども達はすごかった。協力しあい、いつも元気で笑顔がいっぱいでした。そんな中での初めての運動会は、本当に感動しました。地域との繋がりを目的とした松東まつりでも、笑顔で地域の方のお手伝いをしたり、元気いっぴいに発表したり、本当に良い体験が出来たのではないのでしょうか。今後PTA活動にもいろいろな課題があり、検討しなくてはいけない事も出てくるとは思ひます。学校と地域とPTAが互いに協力して、子ども達がより良い環境で学校生活をおくれるように活動して行きたいと思ひます。



# 小松市 2018 中学生サミット



## 事業概要

- 日 時 平成30年11月23日(祝・金) 13:00~16:30
- 場 所 第一地区コミュニティセンター
- 目 的 ネット問題に関し 各校の取り組み発表や議論等を通じて問題の周知と改善をはかる
- 対 象 者 小松市立中学校生徒 40名 (各中学校 3年生2名+2年生1名+1年生1名 男女混成)
- 内 容 アンケート調査の分析結果発表、CM動画やポスターの紹介、各校の取り組み発表、パネルディスカッション



新世代委員会  
委員長 島多直子

新世代委員会は、本年度も小松市中学生サミットのサポートを行いました。市内10校の代表生徒が集まる実行委員会にも積極的に参加し、7月の大杉みどりの里で行われた合宿では、「保護者に言いたいこと」をテーマに子どもたちから本音を聞くことができました。また、10月1日には、保護者向けに中学生サミット保護者実行委員会を開催しました。新世代委員をはじめ、母親代表、小学校PTA会長にもご参加いただき、兵庫県立大学の竹内和雄先生をコーディネーターにお招きして、小松市の小中学生のネットやスマホの実情についてお話をいただきました。子どもたちが使っているアプリやゲームについて知らない方も多く、初めて聞く内容にショックを受ける場面もありました。グループごとに話し合い、「親ももっと知るべき」「ルールは、スマホなどを与えるときに親子で決めるのが良いのでは」などの意見が出ました。11月23日の中学生サミット本番では、中学生の代表と保護者代表(新世代委員)のパネルディスカッションも行われ、中学生の生の声を聞くことができました。多くの保護者、先生方、OBが参加して、小松市の小中学生が抱える問題を共有する機会になったと思います。





平成30年度 小松市立学校PTA連合会 豊かな心を育む委員会

# 親子ふれあい体験

平成30年7月22日(日) 里山健康学校 せせらぎの郷

こねる! のばす! まわす!

今日から君も **ピザ職人**  
& **もちもちパン**もつくるよ!

インスタ映えするっ!

ぶにぶに **多肉植物アレンジメント**  
世界に一つだけのリメイク鉢に寄せ植えしよう!

豊かな心を育む委員会 委員長 山本 誠

今年は、例年続いたバスツアーから、小松市の『せせらぎの郷』にて現地参加型の体験を企画してみました。イベントが集中する夏休み初日にも関わらず、定員の2倍近い応募にスタッフ一同安堵の表情を浮かべました。

参加者の皆様、講師の先生方、スタッフ、施設関係者の皆様の協力により大きなトラブルもなく、安全に終わられましたこと深く感謝申し上げます。

今回頂きました貴重なご意見の数々は、来年度に活かしたいと思えます。本当にありがとうございました。



## 保護者の感想

- ピザ作りや植物のアレンジメントを通じて、子どもとゆっくり会話する機会を持てとても良かったです。普段なかなか二人で過ごすこともないので、時々このような時間を持つといいなと思いました。
- 家では、ゆっくりと子どもとピザなど焼けないので、今日は一緒に作る事が出来て本当に楽しかったです。良い夏休みになりました。楽しかったです!!
- ピザ生地をこねるとき、子どもだけでは少し難しく、親子で協力出来たところが良かったと思います。
- 普段よりぐっとふれあうことが出来ました。
- ピザ作りで張りきってこねたりする姿に成長が感じられて良かったです。
- 今回初めて参加しましたが、親子で一つのことをするのがとても楽しかったです。

## 子どもの感想

- いつも、仕事でいなかったけどお母さんとピザ作りしたのが心に残りました。
- 多肉植物作りでは、ペイントで植木鉢をオリジナル風にしたりと、多肉植物を自分でならべてオシャレにできたのでよかったです。
- ピザ作りで、コミュニケーションをとって家族とのきずなが深まりました。また、知らない人もふれあえたのでよかったです。
- 他の方との関わり合いが大切だと改めて感じました。今後も、他の方との関わり合いを大切にしていきたいと思えました。

## 編集後記

今年も無事に皆様のご協力のもと、会報を発刊することができました。子ども達の活躍や成長が伝わってくる内容を掲載出来たこと嬉しく思っております。また、来年度も更なる子ども達の活躍を期待し楽しみにしております。最後に会報制作に携わった皆様方に心から御礼申し上げます。

広報委員長 中田 一基(符津小)

## 広報委員会

中田 一基(符津小) ・ 蔵 正人(東陵小)  
佐々木香子(芦城小) ・ 日元 雅宜(松東みどり)  
津田 直宏(犬丸小) ・ 山田 真人(粟津小)  
松下 孝規(向本折小) ・ 東 晃栄(中海小)  
山本 秀徳(木場小学校校長)

